

野菜・畑作用殺虫剤

フルバトン[®]フロアブル5

powered by
RYNAXYPYR[®]
ACTIVE INGREDIENT



250ml

500ml

鹿児島のかんしょを全力サポート。
ナカジロシタバのこんならまかせんか!

安納紅



紅はるか



紅さつま



コガネセングン



シロユタカ



写真提供:さつまいもの館

長い残効で
ナカジロシタバの
被害を止める。

散布後速やかに
葉表から葉裏まで
成分が浸透。

キャベツ、
だいこん等
幅広い適用作物。

無人ヘリ、
ドローンでも
使える。

チョウ目害虫に長い残効

チョウ目害虫の食害を素早く止め、安定した残効を示します。

葉裏まで効果を示す優れた浸透性

有効成分が葉表から葉裏まで浸透し、葉裏に潜む害虫も防除。

無人航空機でも使用可能

高濃度少量散布でも高い効果と作物安全性を実現。

ナカジロシタバに対する防除効果

薬剤を背負式噴霧器を用いて10a当たり150ℓの割合で散布した。

【試験概要】

試験年度：2011年

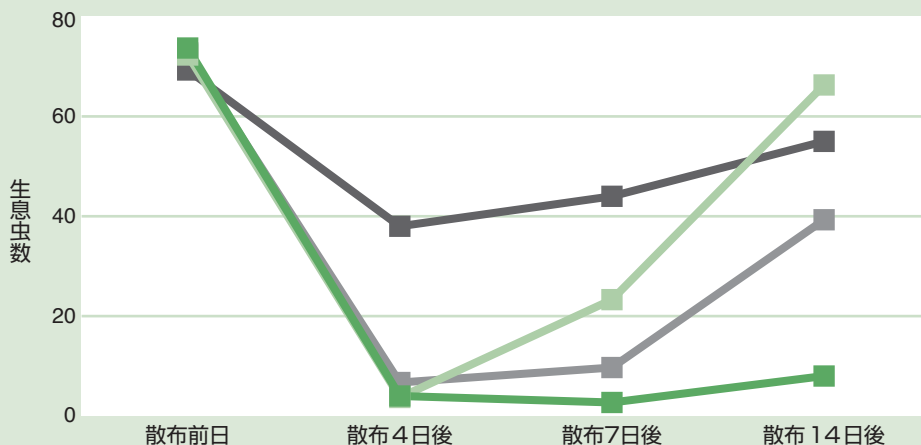
実施場所：鹿児島県鹿屋市

農業開発総合センター大隅支場露地圃場

品 種：べにはるか

処 理 日：8月12日

調査方法：各区の3か所について、
50×50cm 枠内の幼虫数を
若・中・老齢別に調査した。



適用害虫と使用方法(適用表から一部抜粋)

2019年5月現在

作物名	適用害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	クロラントラニプロールを含む農薬の総使用回数
かんしょ	ハスモンヨトウ	2000～4000倍	100～300ℓ/10a	収穫前日まで	3回以内	散布	3回以内
	ナカジロシタバ	4000倍				無人航空機による散布	
		16倍	0.8～1.6ℓ/10a				

【上記以外の登録作物】キャベツ、はくさい、かぶ、非結球あぶらな科葉菜類、ひろしまな、タアサイ、あすっこ、アマランサス(莖葉)、なばな、だいこん、はつかだいこん、カリフラワー、ブロッコリー、茎ブロッコリー、はなごころー、レタス、非結球レタス、トマト、ミニトマト、なす、とうがらし類、ピーマン、きゅうり、ズッキーニ、メロン、すいか、とうがん、いちご、せり科葉菜類、パセリ、らっきょう、ねぎ、えだまめ、だいず、未成熟そらめ、さやいんげん、いんげんまめ、えんどう、さやえんどう、やまのいも、さといも、アスパラガス、ほうれんそう、モロヘイヤ、エンサイ、つるむらさき、しそ科葉菜類、えごま(葉)、ふき、クレソン(土耕栽培)、ごま、とうもろこし、オクラ、しょうが、たばこ

△効果・薬害等の注意

- 使用前によく振ってから使用してください。
- 使用量に合わせ薬液を調整し、使いきってください。
- 散布液調整後はできるだけ速やかに散布してください。
- 使用液量は、対象作物の生育段階、栽培形態及び使用方法に合わせて調節してください。
- 本剤を無人航空機による散布に使用する場合は次の注意事項を守ってください。
 - ①散布は散布機種に適合した散布装置を使用して実施してください。
 - ②散布に当っては散布機種に適合した散布装置を使用してください。
 - ③散布中、薬液の漏れのないように機体の散布配管その他散布装置の十分な点検を行ってください。
- 過度の連用を避け、可能な限り作用性の異なる薬剤やその他の防除手段を組み合わせ使用してください。
- つまみ菜、間引き菜には使用しないでください。
- 空容器は圃場などに放置せず、3回以上水洗し、環境に影響のないよう適切に処理してください。洗浄水はタンクに入れてください。
- 適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤をはじめて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。なお、病害虫防除等関係機関の指導を受けることが望ましいです。
- 本剤の使用に当っては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、とくに初めて使用する場合は、病害虫防除等関係機関の指導を受けることが望ましいです。

△安全使用上の注意

- 誤飲などのないよう注意してください。
- 本剤は眼に対して弱い刺激性があるので眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合は直ちに水洗してください。

- 本剤は皮膚に対して弱い刺激性があるので皮膚に付着しないよう注意してください。付着した場合は直ちに石けんでよく洗い落とすしてください。
- 使用の際は手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用して薬剤が皮膚に付着しないよう注意してください。
- 水産動植物(甲殻類)に影響を及ぼすおそれがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。
- 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにしてください。
- 無人航空機による散布で使用する場合は、飛散しないよう特に注意してください。
- 使用残りの薬液が生じないように調整を行い、使いきってください。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空容器等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。

殺虫剤分類 28

殺虫剤抵抗性管理(IRM)

一般推奨事項：薬剤抵抗性の急速な発達を防ぐために、同一作用機構を持つ製品を連続する複数の害虫世代間にわたって処理することは避けること。ブロック式ローテーション、即ち、プレバソン®フロアブル5または他のグループ28殺虫剤の「ブロック」の後に、異なる作用機構を持つ有効な殺虫剤処理の「ブロック」が続く形でローテーションを使用すること。作付期間(播種から収穫まで)を通して適応されるすべての「グループ28使用ブロック」の合計暴露期間は作付期間の50%を超えてはならない。栽培期間の短い作物は1栽培期間を1ブロックとする。IPM手法の一環として防除体系に組み込むこと。

害虫の抵抗性、作用機構及びモニタリングに関する追加情報の参照サイト
 (1) Insecticide Resistance Action Committee (IRAC) ウェブサイト
<http://www.irac-online.org>
 (2) <http://www.fmc-japan.com/Agricultural-Solutions/IRAC>

- ラベルをよく読んでください。
- 記載以外には使用しないでください。
- 小児の手の届く所には置かないでください。
- 空容器は圃場などに放置せず、3回以上水洗し、環境に影響のないよう適切に処理してください。洗浄水はタンクに入れてください。
- 防除日誌を記帳しましょう。



日産化学株式会社

東京都中央区日本橋二丁目5番1号
 ホームページ <https://www.nissan-agro.net/>
 お客様窓口 TEL.03-4463-8271 (9:00～17:30 土日祝日除く)